平成25年2月期　第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年1月8日

上場会社名　株式会社リックコーポレーション　　上場取引所　大
コード番号　3147　　ＵＲＬ　http://www.lic.jp/
代表者　（役職名）　代表取締役社長　　（氏名）　川西　良治
問合せ先責任者　（役職名）　取締役管理部ゼネラルマネージャー　（氏名）　上本　延一　　(TEL)086(245)6704
四半期報告書提出予定日　平成25年1月11日　　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無　：有・無
四半期決算説明会開催の有無　：有・無

（百万円未満切捨て）

１．平成25年2月期第3四半期の業績（平成24年3月1日～平成24年11月30日）

（１）経営成績（累計）

（%表示は，対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第3四半期	20,379	△1.2	378	△41.1	289	△48.8	159	△26.1
24年2月期第3四半期	20,624	1.9	642	13.7	565	22.1	215	△19.3

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
25年2月期第3四半期	33.73	33.36
24年2月期第3四半期	45.65	－

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第3四半期	14,617	2,130	14.6
24年2月期	13,858	2,032	14.7

（参考）自己資本　25年2月期第3四半期　2,130百万円　24年2月期　2,032百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
24年2月期	－	0.00	－	7.00	7.00
25年2月期	－	0.00	－		
25年2月期(予想)				7.00	7.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：有・無

３．平成25年2月期の業績予想（平成24年3月1日～平成25年2月28日）

（%表示は，対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	27,203	△0.7	441	△37.9	310	△48.7	122	△34.9	25.95

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：有・無

業績予想の修正については、本日（平成25年1月8日）公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」を参照してください。

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：有・無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：有・無

②　①以外の会計方針の変更　　：有・無

③　会計上の見積りの変更　　：有・無

④　修正再表示　　：有・無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年2月期3Q	5,000,000株	24年2月期	5,000,000株
②　期末自己株式数	25年2月期3Q	267,076株	24年2月期	270,076株
③　期中平均株式数(四半期累計)	25年2月期3Q	4,730,099株	24年2月期3Q	4,729,924株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明，その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.3「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
（３）追加情報 …… 3
３．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 6
第３四半期累計期間 …… 6
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 7
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第３四半期累計期間における我が国経済は、東日本大震災に関連した復興需要やエコカー補助金等の経済政策により緩やかながら景気回復の兆しが見られたものの、長期化する欧州の金融不安や海外経済の低迷による影響、近隣諸国との関係悪化に伴う海外需要の減少等により、経済情勢は不安定な状況で推移しております。

当小売業界におきましても、個人消費は依然として低迷しており、消費者の節約志向に対応するための低価格競争や業種を越えた取扱品目の拡大によるシェアの奪い合いは小売業各社の収益を圧迫しており、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社では特売商品による価格競争力に依存するのではなく、地域のお客様に喜びと満足を提供するために、変化のある楽しい売場づくりとサービスレベルの向上に注力しております。具体的には、話題商品や付加価値の高い商品の情報をより早く捉え、お客様に提案出来る売場づくりを進めるとともに、お客様からのご要望に応えられる専門知識を有した従業員の育成に努めております。

新規事業所の開設と致しましては、ホームセンター事業において平成24年４月に一宮事業所（岡山市北区）、ペット事業において平成24年４月に松山中央事業所（愛媛県松山市）、徳島沖浜事業所（徳島県徳島市）の開設を行い、着実に既存出店エリアにおけるドミナント化を進めております。また、既存店の収益力の維持・強化を図るためにペット事業３店舗の店舗改装を実施しております。

これらの結果、当第３四半期累計期間の業績は、売上高は20,379百万円（前年同期比1.2％減）、新規事業所の開設に伴う一時的な経費が増加したこと等から営業利益は378百万円（同41.1％減）、経常利益は289百万円（同48.8％減）、四半期純利益は159百万円（同26.1％減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

なお、第１四半期会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

① ホームセンター事業

ホームセンター事業におきましては、ホームセンター特有のハードなイメージから脱却し、女性やファミリー層をターゲットとした明るく楽しい店舗づくりを目指し、実用性だけではなく、商品の機能や特性を表現できる売場づくりを進めております。また、お客様のご要望やご質問に確実にお応えするために、勉強会や作業実習等を継続的に行うことで従業員の知識向上を図っている他、自社ポイントサービス方法の多様化やお買上商品の無料配達、ガスレンジや扇風機等の買い替え時の引取りサービスを行う等、お客様の利便性を高め、顧客満足度を高めることに努めております。

売上高及び利益確保のための施策と致しましては、ポイント会員の新規獲得の強化、寄せ植えコンテストやお買上金額に応じた抽選キャンペーン等の各種イベントを積極的に実施することで集客力の向上を図り、ガーデニング教室をはじめとするハウツー教室を開催することで潜在的な需要の掘り起こしを行い、売上高の改善に努めて参りました。また、作業量に応じた適正な人時数の見直しや人員配置を行う等の経費節減を進めて参りました。

これらの結果、当第３四半期累計期間のセグメント売上高は13,293百万円（前年同期比3.8％減）となり、セグメント利益は563百万円（同39.9％減）となりました。

② ペット事業

ペット事業におきましては、他のホームセンターやディスカウント店等の低価格競争に追随するのではなく、お客様のご要望に応じた機能や特性を有した商品を積極的に提案することを目指しており、低価格商品への依存度が高い量販店との差別化を進めております。また、トリミングやしつけ教室等のサービス部門強化への取組みとして、社外のトリミングコンテストへの参加や社内コンテストを開催することで従業員の技術力向上を図っております。

売上高及び利益確保のための施策と致しましては、犬の運動会やしつけ教室等のイベントを積極的に開催することで集客力の向上を進めるとともに、旧型店舗の内外装のリニューアルや買い回りのしやすいレイアウトへの変更等を実施致しました。また、ＬＥＤ照明の導入を積極的に進めている他、従業員シフト管理ソフトの導入により作業量に応じた適正な人員配置を行う等の経費節減を進めて参りました。一方で新規事業所の開設が２店舗あったことから、開設に伴う一時的な経費が増加しております。

これらの結果、当第３四半期累計期間のセグメント売上高は7,086百万円（前年同期比4.1％増）となり、セグメント利益は239百万円（同4.2％増）となりました。

（２）財政状態に関する定性的情報

（資産・負債及び純資産の状況）

当第３四半期会計期間末における資産につきましては、前事業年度末に比べ758百万円増加し14,617百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金の増加135百万円、売掛金の増加40百万円、新規事業所開設及び季節の変動に伴う商品の増加546百万円、新規事業所開設に伴う建物の増加54百万円等によるものであります。

当第３四半期会計期間末における負債につきましては、前事業年度末に比べ660百万円増加し12,487百万円となりました。この主な要因は、買掛金の増加399百万円、短期借入金及び１年内返済予定の長期借入金の増加101百万円、社債（１年内償還予定の社債を含む）の増加500百万円等によるものであります。

当第３四半期会計期間末における純資産につきましては、前事業年度末に比べ98百万円増加し2,130百万円となりました。この主な要因は、第３四半期純利益159百万円の計上に対し、剰余金の配当33百万円及びその他有価証券評価差額金の減少28百万円等によるものであります。

（３）業績予想に関する定性的情報

平成25年２月期の業績予想につきましては、当第３四半期累計期間における業績の進捗状況等を踏まえ、平成24年４月13日に発表致しました「平成24年２月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」に記載の通期業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（平成25年1月8日）公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の算出方法）

当第３四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法としております。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（３）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第１四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月４日）を適用しております。

３．四半期財務諸表

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成24年２月29日）	当第３四半期会計期間 （平成24年11月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	616,294	751,752
受取手形及び売掛金	143,667	184,290
商品及び製品	2,724,542	3,270,814
原材料及び貯蔵品	24,843	17,012
その他	783,128	873,892
流動資産合計	4,292,476	5,097,761
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,812,088	2,866,964
構築物（純額）	204,039	188,181
車両運搬具（純額）	0	0
工具、器具及び備品（純額）	397,366	411,100
土地	2,459,310	2,459,310
リース資産（純額）	49,574	75,889
建設仮勘定	21,025	1,833
有形固定資産合計	5,943,404	6,003,280
無形固定資産	36,247	40,106
投資その他の資産		
長期貸付金	1,091,627	1,025,668
敷金及び保証金	1,624,828	1,625,458
その他	930,843	885,414
貸倒引当金	△60,573	△59,995
投資その他の資産合計	3,586,726	3,476,546
固定資産合計	9,566,379	9,519,933
資産合計	13,858,855	14,617,695

（単位：千円）

	前事業年度 （平成24年２月29日）	当第３四半期会計期間 （平成24年11月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,227,044	1,626,440
短期借入金	198,000	270,000
1年内償還予定の社債	－	71,600
1年内返済予定の長期借入金	2,776,405	2,806,249
未払法人税等	106,000	34,665
ポイント引当金	473,010	404,807
その他	632,267	713,104
流動負債合計	5,412,728	5,926,867
固定負債		
社債	－	428,400
長期借入金	5,699,892	5,373,376
退職給付引当金	14,449	15,675
資産除去債務	369,495	404,476
その他	330,224	338,323
固定負債合計	6,414,062	6,560,252
負債合計	11,826,790	12,487,119
純資産の部		
株主資本		
資本金	326,900	326,900
資本剰余金	397,940	398,027
利益剰余金	1,328,020	1,454,447
自己株式	△46,182	△45,669
株主資本合計	2,006,678	2,133,704
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	25,387	△3,128
評価・換算差額等合計	25,387	△3,128
純資産合計	2,032,065	2,130,575
負債純資産合計	13,858,855	14,617,695

（２）四半期損益計算書
（第３四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期累計期間 （自　平成23年３月１日 至　平成23年11月30日）	当第３四半期累計期間 （自　平成24年３月１日 至　平成24年11月30日）
売上高	20,624,715	20,379,983
売上原価	14,105,824	13,847,938
売上総利益	6,518,890	6,532,044
その他の営業収入		
賃貸収入	280,916	287,634
その他	306,593	316,787
その他の営業収入合計	587,509	604,422
営業総利益	7,106,400	7,136,467
販売費及び一般管理費	6,464,085	6,758,074
営業利益	642,315	378,392
営業外収益		
受取利息	12,276	12,302
受取配当金	3,344	4,284
受取手数料	8,334	6,837
補助金収入	29,835	－
その他	10,200	16,714
営業外収益合計	63,990	40,139
営業外費用		
支払利息	118,218	105,371
社債利息	－	510
支払手数料	17,090	12,272
その他	5,560	10,916
営業外費用合計	140,869	129,070
経常利益	565,436	289,461
特別利益		
投資有価証券売却益	－	2,371
貸倒引当金戻入額	822	－
店舗閉鎖損失引当金戻入額	9,557	－
特別利益合計	10,379	2,371
特別損失		
固定資産除却損	5,782	378
投資有価証券売却損	1,114	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	172,098	－
特別損失合計	178,995	378
税引前四半期純利益	396,821	291,453
法人税等	180,913	131,917
四半期純利益	215,907	159,535

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。